



小山高同窓会報

創刊号

2016年7月28日

発行

小山高等学校同窓会

印刷 樹サヲト

創立100周年に
向かって



同窓会会長
栗田 城

会員の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より同窓会に對しまして温かいご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、ご承知の通り小山高等学校は、2年後の平成30年に記念すべき創立100周年を迎えることとなります。本校は、大正7年（1918年）に産声をあげ、以来約100年の年月を重ねてきたわけですが、社会情勢の変化や地域社会の要請に応じ、多種多様な学科が設置され、その役割を果たしたあとに分離、閉科されるという過程を経てまいりました。このことは本校沿革の最大の特徴であり、その都度、発展的に変化を遂げてまいりました。それぞれの時代に生き、本校で学んだ会員の皆様は本校への熱き思いをお持ちのことと推察いたします。

同窓会は、現在会員数23,000余名という大きな組織となりました。会員の方々は全国各地の様々な分野で活躍しておりますが、その礎となつて

いるのは高校時代に培ったものが多いのではないのでしょうか。しかし時は流れ、開校以来の学科であった農業科、商業科が分離独立及び閉科となり、56年の長きにわたり2,300余名の卒業生を送り出した定時制課程もその歴史の幕を閉じました。農業科、商業科及び定時制課程で学んだ卒業生にとっては一抹の寂しさを禁じ得ないことと存じますが、その小山高校で仲間とともに青春時代を過ごしたという思い出は学科、課程及び年代を問わず共通のものであります。

今後、創立100周年に向けて様々な記念事業を予定しているところですが、会員の皆様にはこの創立100周年を機に、改めて高校時代の思い出を呼び起こし、母校に対する愛着と誇りを再認識すると共に、小山高校卒業生としての絆を更に深め、母校の「創立100周年記念事業」に対する温かいご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

結びに、小山高等学校の益々の発展と皆様のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げます。



100周年に向けて



校長 大豆生田 聡

同窓会の皆様には、日頃から母校の教育活動に對しまして、深い御理解と多大な御支援を賜り感謝申し上げます。

また、この度は『小山高同窓会報創刊号』の発行、誠におめでとうございます。

さて、本校は、大正7年(1918年)に夜間季節制の小山町立農商補習学校として呱呱の声を上げ、爾来、長い歴史を刻み、多くの変遷を重ねながら歩んでまいりましたが、とうとう、2年後の平成30年に創立100周年を迎えることとなりました。11月9日の創立記念日に合わせ創立100周年記念式典を挙行することとし、そのための準備を同窓会、PTAとともに推し進めているところであります。昨年度には、栗田同窓会長を委員長とする準備委員会が発足し、その席で協議を深めながら、記念事業の主な内容が決定いたしました。

同窓会名簿の発刊をはじめ、記念式典の挙行、100周年記念誌の発刊、100周年記念資料室の整備、これらを事業の柱として、その他、生徒達への教育環境の整備等については様々な提案が上がりましたが、それらについては、財源となる募金等の状況を見ながら進めていくこととなりました。本年度6月には、準備委員会から、より具体的な活動を進

めるため、実行委員会組織が設置されたところであります。

振り返りますと、小山高校は、その長い歴史の中で全日制、定時制といった大きな教育課程の枠組みの他に、農業科、商業科、園芸科、生活科、普通科、国際会計科、数理科学科、英語人文科と、多様な学科が目まぐるしく誕生し、そして、多くの学科が、その幕を降ろしながら歩んでまいりました。それぞれの存在は、その時々において重要な役割を担ってきましたが、一方では時代背景の変化や地域の要請に耳を傾け、新たな試みに希望を託して、その歴史に幕を降ろさざるを得ない実情があったことと推察いたします。

そのような経緯を持つ本校にとって、100周年記念資料室の整備については、特に意義深いものがあり、本校の歴史、課程や学科の変遷、部活動等の栄光の記録などを集積し、同窓生の皆様の「心の拠り所」となる空間を創りあげ、多くの方々にも本校に足を運んでいただける機会を設けたいと考えているところです。展示する資料等につきましては、長い年月の間に散逸したものも多く、学校に現存している物品だけでは不十分かと思われますので、同窓生の皆様方より提供いただけるお品等がございましたら、是非、御協力を賜りたく、この場をお借りしてお願ひ申し上げる次第であります。

今後も小山高等学校の歴史と伝統を継承しつつ、さらなる飛躍・発展を目指し、生徒・教職員一丸となって精進していく所存であります。会員の皆様には創立100周年に向けて、さらなる御支援・御協力をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

小山高校の1年間



校内球技大会



入学式



聡輝祭



秋華祭(体育祭)



マラソン大会



修学旅行



卒業式



激励会

小山高校の一日

早朝学習 7:50 ~ 3年間で350時間にもなる貴重な学習時間です。



授業は月曜日から金曜日まで1コマ=45分の7時間が行われます。

放課後には希望者課外が実施されます。発展的な内容を学びます。

さらに、月に2度ほど土曜課外が実施され、重要な復習の機会となります。

日 課 表		3年5組 時間割	
日	時	月	火
日	7:30 ~ 8:30	水	金
5 H R	8:35 ~ 8:45	国語	英語
1 時限	8:50 ~ 9:35	化学	数学
2 時限	9:45 ~ 10:30	生物	英語
3 時限	10:40 ~ 11:25	新W	数学
4 時限	11:35 ~ 12:20	新W	数学
5 時限	12:20 ~ 12:50	現代文	数学
6 時限	13:00 ~ 13:15	化学	英語
7 時限	13:20 ~ 14:05	体育	英語
8 時限	14:15 ~ 15:00	英語	英語
9 時限	15:10 ~ 15:55	英語	英語
SHR	16:00 ~	英語	英語
課外	18:05 ~	英語	英語

■ 平成27年度事業内容

4月7日(火)	入学式
4月23日(木)	会計監査 定例会役員会
5月16日(土)	常任理事会 総会 懇親会 (会場 小山グランドホテル) 32名出席
7月10日(金)	清山会総会
9月28日(月)	第1回小高創立100周年記念事業準備委員会 定例役員会
11月14日(土)	創立記念第27回小高マラソン大会
12月5日(土)	同窓会研修旅行(創立100周年に向けて川越高校視察) 24名参加
1月29日(金)	第2回小高創立100周年記念事業準備委員会 定例役員会 (同窓会入会式関係)
2月29日(月)	同窓会入会式
3月1日(火)	卒業式

■ 平成28年度事業内容

4月7日(木)	入学式
4月21日(木)	第3回小高創立100周年記念事業準備委員会 同窓会役員会
5月21日(土)	常任理事会 同窓会総会 (小山高校) 懇親会(小山グランドホテル)
6月13日(月)	第1回小高創立100周年記念事業実行委員会
7月	清山会総会
9月9日(金)	第2回小高創立100周年記念事業実行委員会 同窓会役員会
11月5日(土)	創立記念第28回小高マラソン大会
11月9日(水)	創立記念日 講演会
11月ごろ	同窓会研修旅行(創立100周年に向けての視察)
1月27日(金)	第3回小高創立100周年記念事業実行委員会 同窓会役員会
2月28日(火)	同窓会入会式
3月1日(水)	卒業式



■ 同窓会総会

同窓会総会次第

平成28年5月21日(土) 14時00分より
於 小山高校 学習室2

1. 開会のことば
2. 校歌斉唱
3. 会長あいさつ
4. 学校長あいさつ
5. 議長選出
6. 議題
 - (1) 平成27年度事業報告について
 - (2) 平成27年度決算報告について
 - (3) 会計監査報告
 - (4) 平成28年度事業計画案について
 - (5) 平成28年度予算案について
 - (6) 100周年に向けて

7. 議長解任

8. 紹介 秋の叙勲 瑞宝双光章

阿部 栄 氏(昭和40年卒)

9. 生徒による学校紹介

10. 閉会のことば



■ 懇親会

懇親会式次第

- 16時30分より
於 小山グランドホテル
1. 応援歌(第二)斉唱
 2. 会長あいさつ
 3. 招待者紹介
 4. 招待者あいさつ
 5. 乾杯
 6. 締め



平成28年度 栃木県立小山高等学校同窓会 会計予算書

収入額	3,766,000円
支出額	3,766,000円
差引残額	0円

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
繰越金	1,475,067	1,360,606	114,461	前年度繰越金
会費	2,290,000	2,360,000	△ 70,000	10,000円×229名
雑収入	933	394	539	預金利息
合計	3,766,000	3,721,000	45,000	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
会議費	400,000	310,000	90,000	総会、総会広告、役員会等
通信運搬費	50,000	50,000	0	切手、はがき等
印刷製本費	300,000	0	300,000	同窓会報印刷代
卒業記念品	210,000	210,000	0	卒業記念品(証書ホルダー)
旅費	70,000	70,000	0	研修視察費用
渉外費	85,000	85,000	0	対外的渉外費用
支部助成費	30,000	30,000	0	清山会助成
研修費	200,000	200,000	0	研修助成
入会式費	52,000	52,000	0	入会式費用
進学助成費	150,000	310,000	△ 160,000	進学指導助成
競技出場補助費	250,000	250,000	0	関東大会以上出場生徒助成金
創立記念助成費	340,000	340,000	0	創立記念マラソン大会
慶弔費	280,000	280,000	0	会員の慶弔、饗別
事務補助費	150,000	150,000	0	事務補助
積立金	950,000	950,000	0	特別事業費へ積立
予備費	249,000	434,000	△ 185,000	
合計	3,766,000	3,721,000	45,000	

平成27年度 栃木県立小山高等学校同窓会 会計決算書

収入額	3,710,766円
支出額	2,235,699円
差引残額	1,475,067円

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引	摘要
繰越金	1,360,606	1,360,606	0	前年度繰越金
会費	2,360,000	2,350,000	△ 10,000	10,000円×235名
雑収入	394	160	△ 234	預金利息
合計	3,721,000	3,710,766	△ 10,234	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引	摘要
会議費	310,000	164,495	145,505	総会、総会広告、役員会等
通信運搬費	50,000	9,227	40,773	切手、はがき等
卒業記念品	210,000	194,529	15,471	卒業記念品(証書ホルダー)
旅費	70,000	25,000	45,000	研修旅行
渉外費	85,000	55,000	30,000	対外的渉外費用
支部助成費	30,000	30,000	0	清山会支部助成
研修費	200,000	161,710	38,290	研修旅行
入会式費	52,000	27,886	24,114	入会式費用
進学助成費	310,000	89,208	220,792	進路だより
競技出場補助費	250,000	197,000	53,000	関東大会以上出場生徒助成金
創立記念助成費	340,000	302,462	37,538	創立記念マラソン大会
慶弔費	280,000	139,182	140,818	会員の慶弔、饗別
事務補助費	150,000	140,000	10,000	事務補助
事業費	0	0	0	
積立金	950,000	700,000	250,000	特別事業費へ積立
予備費	434,000	0	434,000	
合計	3,721,000	2,235,699	1,485,301	

●全国大会出場

部活動名	大会名	種目名	順位	氏名
剣道部	平成27年度第62回全国高等学校剣道大会	男子個人	ベスト8	安良岡 俊
		女子団体	出場	
		女子個人	出場	葛生 笑里 入江 美和
	第70回国民体育大会 剣道競技	少年男子団体	出場	安良岡 俊 粕田 怜
	第25回全国高等学校剣道選抜大会	女子団体	出場	
ウエイトリフティング部	平成27年度17回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会	女子63kg級	5位	入江香代子
	平成27年度第62回全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会	男子62kg級	出場	亀山 亮
		男子69kg級	出場	櫻井 歩
	平成27年度第31回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会	男子62kg級	2位	亀山 亮
		男子77kg級	3位	関 風輝
陸上競技部	平成27年度第62回全国高等学校総合体育大会陸上競技大会	やり投げ	出場	前原 悠成
	第70回国民体育大会 陸上競技	男子やり投げ	出場	前原 悠成
文芸部	平成27年度第39回全国高等学校総合文化祭	俳句部門	出場	青木 理美
		散文部門	出場	瀧 郁弥

部活動状況



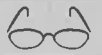
平成28年度部活動加入率

H28.5.6 現在

No.	部名	性別	学年	男子			女子			合計
				3	2	1	3	2	1	
1	野球	球		12	10	13	1	2	2	40
2	ボクシング			2	0	1	0	0	0	3
3	サッカー			19	13	17	4	0	2	55
4	水泳			5	8	6	1	2	0	22
5	陸上			5	3	4	2	0	2	16
6	剣道			7	9	5	6	5	2	34
7	男子バスケット			2	9	13	1	0	1	26
8	女子バスケット			0	0	0	2	6	7	15
9	男子バレー			3	6	5	1	1	0	16
10	女子バレー			0	0	0	5	1	1	7
11	ソフトテニス			11	5	5	0	0	1	22
12	男硬式テニス			0	18	10	0	0	0	28
13	女硬式テニス			0	0	0	6	6	6	18
14	卓球			2	6	4	1	0	6	19
15	ウエイト			4	1	1	0	2	0	8
16	男バドミントン			8	10	11	0	0	0	29
17	女バドミントン			0	0	0	4	5	0	9
18	美術			0	0	0	4	5	7	16
19	吹奏楽			2	3	2	8	5	10	30
20	写真			1	1	1	0	0	1	4
21	書道			0	1	2	4	1	1	9
22	茶華道			0	0	0	0	6	4	10
23	放送			0	0	0	2	1	4	7
24	科学			8	7	3	0	0	0	18
25	ユネスコ			1	0	0	0	0	0	1
26	文芸			2	1	2	1	2	3	11
27	軽音			4	3	10	0	2	3	22
28	歴史研究			4	1	3	0	0	0	8
29	合唱			1	0	0	0	4	1	6
30	ダンス			0	0	0	5	3	1	9
				103	115	118	58	59	65	518

	TOTAL
全部・同好会	73.8%
部活のみ	67.4%

進路状況報告



1 本校の進路指導について

本校の進路概況としては、例年95%が4年制大学に進学し、4%が短大・専門学校、1%就職（公務員が多い）で、現状は大学進学が主な進学校です。

進学校ですので、大学に合格することが目的になりがちですが、進路指導の意義を、『行き先』指導ではなく、『生き方』指導を指針に指導しています。具体的には、生徒に①大学に合格すること自体が進路指導の目的ではなく、生徒が将来幸せになることを究極の目標であることを明確に把握させる。②そのためにどのような進路がベストなのか目標設定させる。③幸せになるための力（人間力）の重要性を認識させる。④希望進路実現に向けて様々な苦難や乗り越えるために努力等経験することが、その人間力を強化することにつながることを理解させる。以上、①～④を基盤に、『信じる』Trust!（生徒の可能性を信じる!）、『育てる』Foster!（生徒のモチベーションアップを図り、夢を育てる!）、『支える』Support!（生徒と最後まで付き合い、全力で支える!）をキャッチフレーズに、日々生徒のモチベーションを上げる・仕掛ける・攻めの進路指導を生徒に実践しています。今春東大・京大に続く超難関名古屋大学に創立以来初めて合格者が出たり、昨年は数理科学科から東北大学に進学した生徒が、東北大学から最優秀表彰を受けるなど成果が出ています。

2 主な進路実現に向けた取組

①朝の学習

本校では毎朝7時50分～40分間、全校生徒が国数英を中心とした自主学習に取り組んでいます。この朝の学習の3年間の総学習時間は350時間以上にもおよび、生徒の進路実現のための重要な学力基盤形成に役立っています。また、この朝の学習により、基本的学習習慣の確立とともに早起き・遅刻防止等、良好な生活習慣も確立できています。



進路実現のための重要な学力基盤形成に役立っています。また、この朝の学習により、基本的学習習慣の確立とともに早起き・遅刻防止等、良好な生活習慣も確立できています。

②進路受験指導

3年間を見据えた進路指導を各学年別に計画的に実施して、生徒の進路意識・学習意識の高揚を図っています。



③一日大学見学会

本校生は大学進学がほとんどなので、1年生の秋に実際に講義を受けたり、施設を見学したりする等、1日大学生活を体験させる事業を行っています。



④学部学科説明会

2年生の7月に、宇都宮大学等本校生の志望が多い大学に来て頂き、それぞれの学部・学科の内容を説明して頂き、生徒の大学理解を促進しています。



⑤キャリア教育

自己理解・職業理解から初めて、将来の自分の進むべき道や在り方・生き方、を考えさせ、それを踏まえ大学等適切な進路決定ができるよう指導しています。



3 近年の進路概況

※ その他、進路に関する情報については、随時ホームページ等により提供していますので、是非ご覧下さい。

国公立大学年度別合格者数

卒業年	19	20	21	22	23	25	26	27	28
人数 (過年度)	84 (5)	89 (3)	85 (3)	79 (2)	73 (4)	60 (5)	64 (8)	65 (9)	84 (4)
クラス数	6	6	6	6	6	6	6	6	6

※人数の（ ）は、過年度生で内数を示す。

国公立大学別合格者数

合格大学	H28	合格大学	H28
北見工業大	1	名古屋大	1
北教大釧路校	1	愛媛大	1
弘前大	1	はこだて未来大	1
秋田大	3	釧路公立大	2
岩手大	1	青森公立大	1
山形大	4	秋田県立大	2
福島大	11	会津大	2
茨城大	5	群馬県立女子大	3
筑波技大	1	高崎経済大	2
宇都宮大	16 (2)	前橋工科大	2
群馬大	6	埼玉県立大	1 (1)
埼玉大	2	千葉保健医療大	1
千葉大	3	新潟県立大	2
電気通信大	1	愛媛医療技大	1
新潟大	2	長崎県立大	1
上越教育大	1	計	84 (4)
山梨大	1	()内は過年度で内数	
信州大	1 (1)		

主な私立大学年度別合格者数

合格大学	H28	合格大学	H28
国際医療福祉	6	順天堂	1
自治医科	2	成蹊	2
獨協医科	3	成城	4
白鷗	42	専修	8
東京福祉	1	大東文化	11
文教	9	東海	7
千葉工業	13	東京農業	1
法政	11	東京理科	5
明治	2	東洋	58
明治学院	3	日本	14 (1)
立教	4	計(記載外含む)	185 (7)
青山学院	1	()内は過年度で内数	
亜細亜	1		
学習院	3 (1)		
北里	2		
國學院	1		
国士舘	2		
駒澤	13		

数理科学科 紹介文

平成8年に理数科として数理科学科1クラス40名として設立されました。

理数科は、全国的にも進学校に設置されており、本校でも、「国公立大学への進学を目指す」、「あらゆる理系大学進学に対応できる」、また、「幅広い学部・学科の受験が可能」な学科として位置づけています。現在、栃木県では小山高校だけに設置されています。

主な行事を紹介します。

数理科学科特別授業

大学・民間企業・研究機関等の専門分野に精通した人による授業を実施することで、生徒に先端の科学技術・知識を学ぶ機会を与え、自然科学への興味関心の高揚や学習への動機付けをはかり、学習意欲を高める目的で実施している。

昨年度は、宇都宮大学大庭教授による「ホテルノヒカリ」と横田教授による「家庭用清掃ロボットのしくみ」の講義を受けました。また、数学の分野で、宇都宮大学小池准教授の「線形代数への招待」の講義を受けました。過去には、企業の技術者の方、研究者の方に来校してもらい、最先端の研究の功罪などについて講義をしてもらいました。



(生徒の感想)
内容は、難しかったが、身近な題材を取り上げていただき、興味が持てました。課題研究にしたいと思いました。

自然探究合宿(1年生)

毎年、8月の初旬に日光戦場ヶ原、小田代ヶ原、湯の湖周辺を中心に2日間かけて専門家の協力を受けて探究活動を行います。自然や環境に対して科学的な視点を

持つて調査、観察を通して、科学的な思考力を養うことや、将来研究者として必要とされる探究する態度も学ぶことを目的としている。

準備は、5月下旬のテーマ設定と班編制から始まり、十分な事前学習を行います。探究合宿後に、追加研究やレポート作成があります。1月には、班ごとによるプレゼンテーションを行います。数理科学科1年生にとって貴重な学びの場です。

(生徒の感想)

小学生の頃、家族旅行で日光に行きました。ただ、両親と一緒に散策をしただけでしたが、今回の探究合宿では、私たち自身がテーマを持ち、専門家の意見を聞きながら活動ができたことは非常に有意義でした。

課題研究(2年生)

数理科学科の集大成として、自ら選択したテーマを設定し、大学や研究機関に協力していただき、発表までの一連の流れを通して、専門分野の知識を深めます。また、プレゼンテーションを行うことで、情報発信能力を高めることも目的としている。

(生徒の感想)

テーマ設定から始まり、事前調査→研究→考察→発表→報告と一連の流れを自分一人で、担当の先生に相談しながら進めていくことは非常に大変でした。将来、研究者を目指す私には非常に役に立ちました。



平成27年度 数理科学科2年6組 課題研究テーマ一覧

通し番号	研究テーマ	講座
1	水銀の世界	宇都宮大学教育学部連携事業
2	冷光の性質	宇都宮大学工学部連携事業
3	果物のpHと中和滴定	共同研究
4	運動方程式の証明	宇都宮大学教育学部連携事業
5	運動方程式の検証	宇都宮大学教育学部連携事業
6	ホテルの光を再現してみよう	宇都宮大学工学部連携事業
7	センサーの仕組み	宇都宮大学工学部連携事業
8	蛍の光の再現	宇都宮大学工学部連携事業
9	蛍の光を作ってみよう!	宇都宮大学工学部連携事業
10	ロケット発射～宇宙への道のり～	神奈川工科大学連携講座
11	液体窒素の特徴	宇都宮大学教育学部連携事業
12	水銀の凝固とトリチェリ	宇都宮大学教育学部連携事業
13	蛍の光り方	宇都宮大学工学部連携事業
14	運動方程式の検証	宇都宮大学教育学部連携事業
15	DNAの抽出	宇都宮大学教育学部連携事業
16	運動方程式の証明	宇都宮大学教育学部連携事業
17	ロケット発射～宇宙への道のり～	神奈川工科大学連携講座
18	なぜ梅干しはアルカリ性食品なのか	共同研究
19	なぜ梅干しはアルカリ性食品なのか	共同研究
20	はたの光	宇都宮大学工学部連携事業
21	DNAの抽出	宇都宮大学教育学部連携事業
22	果物のpHと中和滴定	共同研究
23	-200℃の世界	宇都宮大学教育学部連携事業
24	ロケットを宇宙へ飛ばすためには	神奈川工科大学連携講座
25	ゲル電気泳動法による酵素の分離	宇都宮大学教育学部連携事業
26	冷光の性質	宇都宮大学工学部連携事業
27	放射線の性質	日本原子力文化振興財団出張講座
28	果物のpHと中和滴定	共同研究
29	ミジンコの生態～その驚くべき適応能力～	宇都宮大学IP-Uプログラム
30	光の性質	宇都宮大学教育学部連携事業
31	ミジンコの生態～その驚くべき適応能力～	宇都宮大学IP-Uプログラム
32	ロボット内部の仕組み	宇都宮大学工学部連携事業
33	DNAの抽出	宇都宮大学教育学部連携事業
34	放射線の可能性	日本原子力文化振興財団出張講座
35	光の性質	宇都宮大学教育学部連携事業
36	放射線の正体	日本原子力文化振興財団出張講座
37	ロケットの発射～宇宙への道のり～	神奈川工科大学連携講座
38	わかりやすい実験方法の研究	群馬大学理工学部サイエンスプログラム
39	光の性質	宇都宮大学教育学部連携事業

数理科学科の主な行事

- 6月 数理科学科特別授業①
- 7月 宇都宮大学科学実験講座①
神奈川工科大学連携講座①
- 8月 1年生の日光自然探究合宿
宇都宮大学科学実験講座②
神奈川工科大学連携講座②
夏休み中、大学の科学講座や企業の講座に参加
JAXA(宇宙航空開発機構)など
- 11月 科学の甲子園参加
- 12月 2年生の課題研究発表会
- 1月 1年生の自然探究合宿発表会
- 2月 数理科学科特別授業②
- 3月 研究集録発行

掲載日: 2015年5月29日 発行: 2015年5月29日 発行: 2015年5月29日



報告
数理科学科と宇都宮大学工学部とが教育連携覚書の調印
平成27年5月8日

「小山高同窓会」の創刊号として、数理科学科と宇都宮大学工学部との教育連携覚書の調印式が行われました。調印式には、数理科学科の教員、宇都宮大学工学部の教員、そして両校の学生が参加しました。調印された覚書は、両校の教育連携を促進し、学生たちの学びの機会を拡大することを目的としています。

母校創立100周年記念事業のあらまし

母校小山高校は2年後の平成30年に創立100周年を迎えます。そこで、100周年の記念事業を計画するため、平成27年9月28日に栗田同窓会長を委員長として、同窓会、PTA、学校が一体となった『小山高校創立100周年記念事業準備委員会』が結成されました。現在まで3回の準備委員会を開催し、以下のような事業の実施が決定されました。

なお、『小山高校創立100周年記念事業準備委員会』は、今年度6月13日に発展的に創立100周年記念事業実行委員会に移行しました。

①記念式典

平成30年11月9日(金)に小山市文化センターにて、午前中に記念式典を行います。

②記念講演会

式典終了後、記念講演会を開催します。講師は現在交渉中です。

③記念誌(100周年誌) 編集刊行

小山高校現在までの100年の歴史をまとめます。同窓生の誰もが自身の小高時代を振り返ることができる記念誌をめざし編纂中です。

④同窓会会員名簿の刊行

10年ぶりの会員名簿の発行となります。

⑤100周年記念資料室の整備

本校の歴史、課程や学科の変遷、

部活動の栄光の記録などを集積し、同窓生の皆様の「心の拠り所」となる空間を創りあげ、多くの方々へ本校に足を運んでいただける機会を設けたいと考えています。平成29年度同窓会総会までには完成させ、同窓生の皆様にお披露目させていただきます。

⑥体育館縦帳の新調(現在のものは創立70周年記念事業で作製したもの)

創立70周年記念事業の一環で作製したのですが、約30年が経過しかなり痛みがひどくなりました。創立100周年を記念して新調させていただきます。

⑦教育環境の整備

教育活動充実のため、学習室、進路指導室など教育環境の整備を行います。

これら記念事業の実施にあたり、同窓生の皆様に募金のご協力をお願いさせていただいております。詳細は、『趣意書』のとおりでございますので、何とぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

伝統ある地域の拠点校、我らが小山高校に相応しい盛大な100周年記念事業となりますよう、会員皆様の絶大なるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

小山高校 同窓会役員名簿 H28.5.21

氏名	役職
茂 聡	顧問 校長
進 城	顧問 校長
石 崎	名誉会長
栗 田	会長
荒 川	副会長
山 中	副会長
船渡川	副会長
山 本	副会長
幸 男	副会長
滝 沢	副会長
岩 崎	副会長
清山会	副会長
神 戸	副会長
五月女	副会長
川 田	副会長
順 子	副会長
堀 島	副会長
飯 島	副会長
小 林	副会長
小 河	副会長
菱 沼	副会長
増 山	副会長
鈴 木	副会長
岡 本	副会長
津 布	副会長
阿久津	副会長
小 藤	副会長
笠 越	副会長
岸 野	副会長
塚 原	副会長

同窓会事務局から



来年度の同窓会総会
同窓生誰でも出席できます。

平成29年5月20日(土) 14時
小山高校会議室

小山高校会議室

総会終了後、懇親会も準備しております。
同級生をお誘いの上、出席してください。

若い同窓生の出席も大歓迎です。

お願い② 創立100周年記念事業実行委員会を設立させ、創立100周年記念事業成功に向けて動き始めました。同窓会役員だけでなく、常任理事、理事の方々の協力が必要不可欠です。理事で学校に来て準備や運営を手伝っていただける方がいらつ

しゃいましたら、ご協力をお願いいたします。

また、近所にお住まいの同窓生で協力していただける方がいましたら、よろしく

お願いします。

お願い③ 今回が、同窓会報創刊号になりました。会報をきっかけとして、同窓生ど

うしの交流の場や情報交換の場になればよいと考え、年に一度の発行を検討しています。

創刊号は、現在の学校を紹介する内容がメインでしたが、今後は、『同窓生の声』

編集後記

という形で、〇〇年度卒同窓会の案内や報告、同窓生のご活躍の紹介などの情報を掲載していきたいと考えております。寄稿していただける方がいらつしやいましたら同窓会事務局までご連絡ください。

私は、小山高校を卒業して27年が立ち、母校に勤務して10年になりました。学生の頃過ごした学校とは別学校ではないかと錯覚してしまうほどの変容ぶりです。ましてや農業科、商業科、園芸科、定時制を卒業された先輩方は、今の母校をどのように感じておられるのか知りたいところです。来年、100周年記念資料室が設置される予定です。どの世代の同窓生が来校されても小山高校に在籍したとわかるような、懐かしさをもてるような空間にしたいと考えています。

母校への来校をお待ちしております。

(岡本)

小山高等学校同窓会事務局

〒323-0028

栃木県小山市若木町2-18-51

TEL 0285-12210236